

市民と津山市議会議員の意見交換会 ～第13回議会報告会～

日 時：令和2年2月10日(月)～14日(金)

18:30～20:00

会 場：一宮公民館 清泉公民館

勝北公民館 二宮公民館

テ ー マ 未来の津山市を考える

参 加 者 市民 延べ99名 津山市議会議員 27名



津 山 市 議 会

議会報告会(市民と議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和2年2月10日(月) 18時30分～20時00分	
開催場所	一宮公民館	
班 名	1 班	
出席議員	班 長 : 金田 稔久	副班長 : 田口 浩二
	司会者 : 金田 稔久	原 行則
	記録係 : 勝浦 正樹	村田 隆男
	報告係 : 田口 浩二	森岡 和雄
参加者	25 人(男 23 人 : 女 2 人)	
テーマ	未来の津山市を考える	
意見交換の 内 容 (主なもの)	質問・意見・要望等	回答・意見・助言等
	若者の地域定住について、都市部へ進学した若者が地元へ帰ってくるための情報発信が必要と考えるが。	新卒者の地元就職やUターン就職の促進に必要な具体的な施策の再考が必要である。子育てにおいて、地域の魅力に触れさせて郷土愛を育むことが重要であると考えます。
	若者定住に関しては、働く場所が必要と考えるが、企業誘致の状況はどうか。	企業用地の未分譲地は残りわずかとなっており、完売に向けて、更なる企業誘致を推進していく。
	地域商社の設立について研究されているとのことだが、現在どこまで進んでいるのかお知らせ願いたい。	これまで3回の検討会を行った結果、設立時期は本年10月を目指すとのことであった。取り扱う主な品目については、米、麦、大豆、ピオーネがあげられている。産業委員会としても今月27日に生産者の声をお聞きするための懇談会を予定している。今後も委員会としても地域商社の設立に向けた動向を注視していきたい。
	津山市には、娯楽施設が少ないため岡山市に出向く傾向がある。映画館が必要と考える人が多いが。	映画館については様々な場面で、多くの声をいただいている。市ではベルフォーレ津山の運営に補助金を投入しており今後に期待したい。費用対効果の問題もあり、十分な検討が必要である。
	作陽高校の移転について、津山市にとって全国的知名度のある学校が、移転することは残念であるが、慰留に努めたのか。	これまで執行部でも議会でも、慰留に努め、一般質問でも執行部に対応を問うてきた。作陽高校のような知名度のある高校が移転してしまうのは、非常に残念ではあるが、高大連携の方針であり、止められない。今後の津山市の教育の体制、人づくりの体制を整えていく必要性を感じている。
	農業政策について、農業離れにより耕作放棄地が増加しているが、津山市独自の農業政策を考えるべきではないのか。	農業予算の大半は国の予算であり、地方独自の政策が立てにくい。津山市にとって農林業の振興は主要施策であり、今後も調査・研究を行い、津山市ができることを検討していきたい。
まとめ・特記事項	その他、議会からの報告 ・美作大学の公立化についても視野に入ってきている。 ・看護大学誘致の研究に力を入れている。	

- ・市民音楽祭は、リニューアルされて開催される予定。
- ・4月の機構改革により、文化課は産業文化部へ移管。

まとめ

2月10日に行われた議会報告会は、小雨の降るとても寒い日となりましたが、多くの市民の方々にお越しいただきました。

特に議論したところとしては、若者定住化についてでありました。議員側からも「自分のお子さんに地元に戻ってもらいたい、家を継いでほしいなど話したことがありますか」と質問させていただきました。結果は、ほとんどの方は、お子さんの自主性に任せているとの回答でありました。

最後には「これからの津山市にチャンスがあると思うか」という質問もさせていただきましたが、結果は、有る＝11名、無い＝10名、無回答＝4名でした。家庭・地域・行政がしっかりと連携を取り、若者定住化対策を行う事が重要であると参加者一同で認識を一つにすることができ、大きな成果であったと感じています。

そして今回の意見交換会を通じて市民の皆様の地元への愛着を強く感じ、私たち議員は、これからも開かれた議会を行う事により市民の期待に応えられるように、一層精進してまいります。

議会報告会(市民と議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和2年2月12日(水) 18時30分 ～ 20時00分	
開催場所	清泉公民館	
班 名	2班	
出席議員	班 長 : 松本義隆	副班長 : 西野修平
	司会者 : 松本義隆	岡安謙典
	記録係 : 政岡大介	河村美典
	記録係 : 村上祐二	西野修平
	報告係 : 高橋寿治	
参加者	15人(男15人 : 女0人)	
テーマ	未来の津山市を考える	
意見交換の 内 容 (主なもの)	質問・意見・要望等	回答・意見・助言等
	津山市の人口減少は何年後に止まり、上昇に転じるのか	今の所下げ止まる状況にない 人口にこだわるならば、移民を受け入れるしかない 子育て費用負担が多大なことも一因、国にその費用のさらなる軽減を求めたい
	人口減少による負の部分、小中学校の学力を向上させて補うことが最善の手法では(現にボランティアによる補習で、成果が表面化している地域がある)	学校を地域全体で支える必要があるのは同感である 市長は、出生率 2.0 を目標にしている まだ就任 2 年、今後の成果に期待している
	空き家対策をもっと踏み込んでほしい 道路に隣接していて倒壊や瓦の落下で通行が危険な箇所もあり、景観上もふさわしくない	移住者に積極的に斡旋したい 除去にかかる費用について、条件付きではあるが、工事費の1/3、上限 50 万円の補助制度がある 倒壊等危険な空き家に対して、所有者に適切な管理の要請をしている 瓦が今にも落下しそうで通行の安全確保のため、瓦の撤去など、緊急安全措置を行ったことはある
	農地付き古民家の所有権移転登記を可能にしてほしい	内閣府の地方分権改革推進室に地域特性の観点から規制緩和の相談をしてみたい 農業委員会に趣旨を伝える
	集落営農にも後継者が不足する事態になっている	持続可能な農業を目指し、儲かる農業を実現すれば良いが、実際にはハードルが高い
	企業誘致について 津山中核工業団地内のトヨタ自動車の所有地は、用地取得後 30 数年更地の状況だが、どうにかならぬか	トヨタホームの住宅製造の工場用地として取得されたが、その後そのままの状態である その間、他企業からの問い合わせもあるが、現在に至っている 雇用創出の観点からも早急な工場建設が望まれ、議会としても積極的に取り組みたい
	地域商社を成功させてほしい	JA との良好な関係が不可欠である 商品に付加価値が必要である しっかりした組織体になければならない

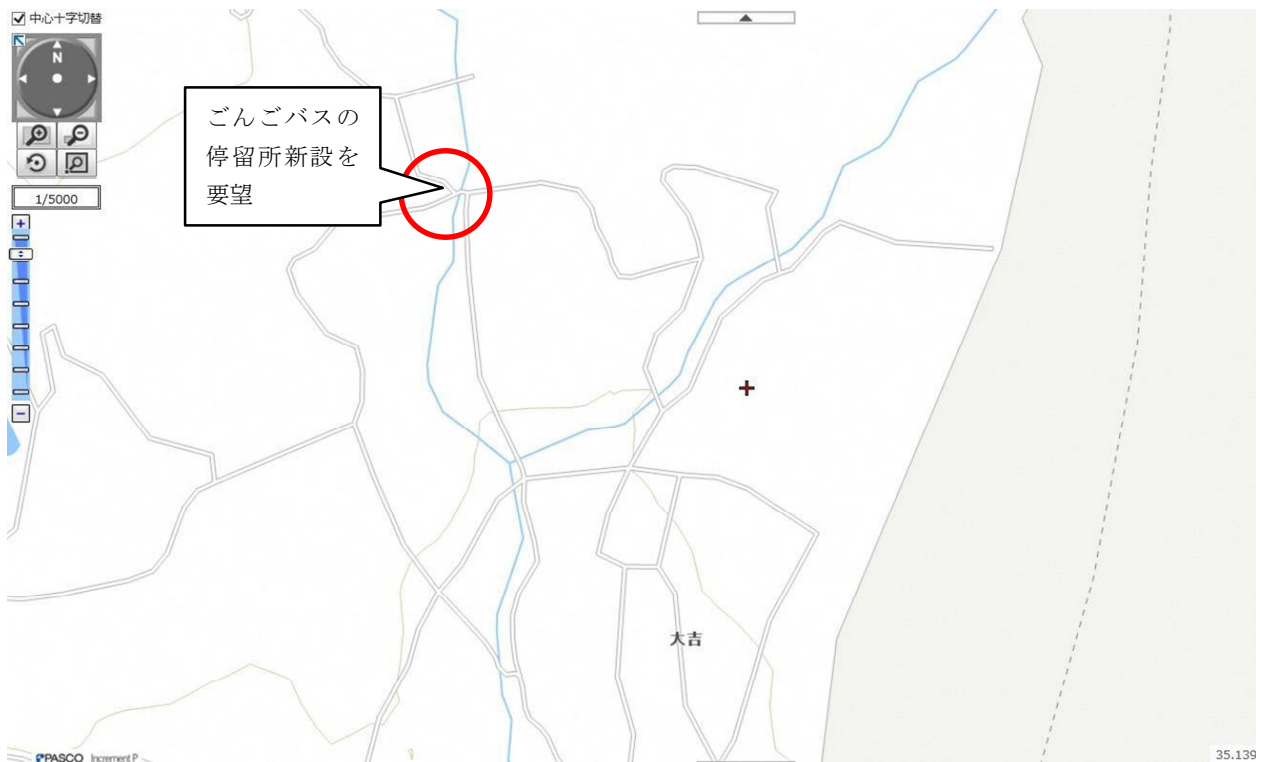
	忠魂碑の維持管理が高齢化により困難になっている	市と議会で議論してみたい
	綾部の産業廃棄物焼却場(民間)の煙が気になる	美作県民局によると水蒸気であるとの回答であった
	議員定数削減について、それぞれ見解を	参加議員 7 名、それぞれ現時点での思いを述べる
まとめ・特記事項	急激な人口減少(少子高齢化)について、危機感は共有できている 小中学校の児童・生徒に対して地域の総力で学力を向上させることが、地域活性化の近道との貴重な提案があった その他、空き家対策・移住定住・農業問題・企業誘致・環境問題等貴重な意見交換ができた	

議会報告会(市民と議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和2年2月13日(木) 18時30分 ~ 20時10分	
開催場所	勝北公民館	
班 名	3班	
出席議員	班 長 : 岡田康弘	副班長 : 津本辰己
	司会者 : 岡田康弘	報告係 : 安東伸昭
	記録係 : 秋久憲司	記録係 : 近藤吉一郎
	津本辰己	中島完一
	中村聖二郎	
参加者	35人(男 33人 : 女 2人)	
テーマ	未来の津山市を考える	
意見交換の 内 容 (主なもの)	質問・意見・要望等	回答・意見・助言等
	防災無線により、自衛隊の様子は、ある程度わかるが、対策委員会や新聞などからの情報が少ない。 自衛隊などの訓練と地元への還元を将来的にどのように位置づけるのか？	演習場対策委員会で話していきたい。
	横断歩道や減速喚起などの白線が消えている箇所が散見されるため、点検し補修を。 勝北文化センター駐車場の誘導ブロックが積雪時や夜間に見えにくく、乗り上げるため、改善を。 ※別紙資料参照	箇所等をお聞きしたので関係部署に伝え、後日お知らせする。
	消防団の消防車の配置が少ない。活動が保てるよう配置をお願いしたい。 消防水利や消火栓の看板が経年劣化で消えかかっており、読めず位置がわからない。	耐用年数が来た消防車を不足している消防団へ配置するよう要望している。 検討するよう担当部署に伝える。
	以前よりも広戸風が強く、回数も増えており、小学生や中高生にもわかるよう広報などをしてもらいたい。	防災メールなどの配信をするよう伝える。
	奈義町や美咲町には独自のグランドゴルフ場があり、高齢者の介護予防のためにも市独自の施設をつくってほしい。近く年金友の会等の大会で署名を募り、市に要望する。	グランドゴルフ場ができるよう努力し、応援していく。
	地滑り地帯にセンサーを設置し、危機管理室等でわかるようにならないか？ 若者を流出させないよう企業誘致など働く場の確保を。 ごんごバスを大吉地区の土居まで通してほしい。※別紙資料参照	センサーは強く要望する。 今ある企業を津山から出さないよう対応を求める。 停留所ができるように努力をする。
	専門校など特色のある学校誘致を。 起業に光ファイバーの敷設が必要早く対応を。 県南と日本原ICで鳥取への道を。 ふるさとを大切にする教育を。 工業団地の有効活用を。	津山には公の学校・大学が必要と思う。 学んで地域企業に就職してもらいたい。 工業団地の件は努力したい。

まとめ・特記事項	参加者が多く、日常生活にまつわる活発な要望などが出されたが、テーマである「未来の津山市を考える」の議論までは今少し近寄れなかった。 しかし、生活上の安全・安心に関する質問が多く、市民からの要望を今後の議員会議などで生かしていく必要があると感じた。
-----------------	---





議会報告会(市民と議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和2年2月14日(金) 18時30分 ~ 20時00分	
開催場所	二宮公民館	
班 名	4班	
出席議員	班 長 : 政岡哲弘	副班長 : 広谷桂子
	司会者 : 政岡哲弘	
	記録係 : 美見みち子	報告係 : 広谷桂子
	記録係 : 三浦ひらく	河本英敏
	竹内靖人	吉田耕造
参加者	24人(男 20人 : 女 4人)	
テーマ	未来の津山市を考える	
意見交換の 内 容 (主なもの)	質問・意見・要望等	回答・意見・助言等
	新型コロナウイルス感染が心配される。市の対応は。	津山市で「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催。ホームページでのお知らせやチラシの配布をしている。問合せは美作保健所へ。(津山市の窓口は健康増進課)
	作陽高校の移転問題は怎么样了のか。市の対応は。	地元への説明はあった。市の認識はマスコミ報道の範囲であり、令和2年度入学生が卒業するまでは存続すると聞いている。懸念はあるが私学であるため、経営への介入は難しい。
	農林業の現状がひどい。中山間地直接支払い制度が終わり、来年度から新たな制度となる。高齢化で小さな田の維持も困難であり、水路の清掃にも出られない。	農業のおかれている状況が厳しいことは重々認識している。若い人は儲からないことはやらない。地域づくりの課題でもあるので引き続きサポートしていく。
	担い手不足が様々なところで問題になっているが、その一つが町内会長。責任があり、時間的にも制限されることが多い町内会長には、予算を組んで市から報酬を出しては。	先進自治体などと言われるまちでは、むしろ地域自治に住民がみずからお金を出すことが当然の仕組みができあがっている。厳しい財政状況の中では自助・共助も大切だと考える。
	小田中は丘陵が多く、バス停に行くにも時間がかかる。社協から車を提供してもらうなどして送迎ができれば助かる。高齢者の運転・交通手段等についてどう考えているのか。	議会でも取り上げている問題。それぞれの地域で多少課題は違うが、市としても早急に問題解決に向けて取り組んでもらうように提案していきたい。
	ガラスハウスの運営は今後どうなるのか。維持できるのか。	津山自分ごと化会議で論議された結果、現在の運営形態は来年度中との提言が出された。今後は現在の指定管理者であるミズノへの委託期間終了後の運営について検討していく。
	山下児童公園前道路は、今の状態で何十億円もかけて整備する必要はない。	事業の白紙化などを求める住民監査請求が出されたが棄却された。市民の関心も高い問題であると認識しているので、議会としても今後の動向を注視していく。
まとめ・特記事項	今後の議会報告会のあり方への意見が2点出された。 ①4つの常任委員会ごとではない形で班編制するようにしてほしい。 ②市内の各公民館をまわって懇談する形で行ってほしい。 課題・要望全般に対応でき、できるだけ参加しやすくしてほしいという趣旨だと理解している。	